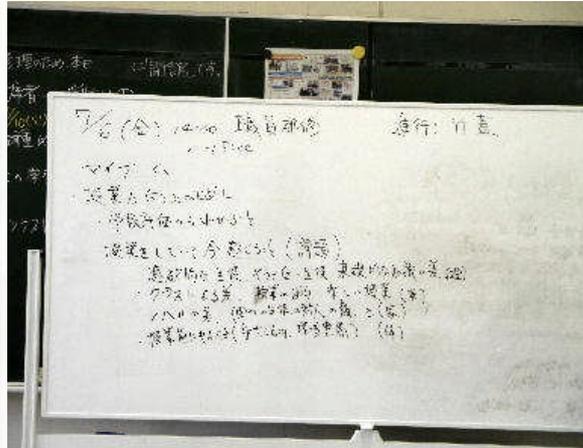


## 校内職員研修会を振り返る

平成24年7月9日



- 新人，ベテランを問わず，どの先生方もそれぞれ苦労しているのがわかった。一人で抱え込まず，困ったことは，まわりの人たちに相談したい。
- 五中の学習指導用資料をみて思ったが，中学と高校で意識の差を感じる。「高校は義務教育ではない」は，高校教師がよく使う言葉だが，中学レベルをクリアしていない生徒が集まっている現状を考えると，本校でも全校の取組として，五中のようなきめ細かさ，丁寧さをもつべきではないか。
- 肩ひじ張らずに，フリーに話ができる場として有益だった。ふだんの忙しさの中では，このような時間が貴重かなと思う。
- 司会者が60分をうまく構成してくれたおかげで，職員の課題と授業の目標が共有できたのではないかなと思う。
- 新しい学校で若手教員も増え，日ごろは手のかかる生徒が多い職場環境であるため，職員全体での研修の場は有益であったと思う。この研修の進行役を若手教員を代表してやっていただき，ありがとうございました。
- 他教科や年代の違う先生から話が聞けて，参考になった。
- 普段，話すことのない先輩教員から話が聞けてよかった。
- 自分が問題としていることを，一人で悩むより，同僚の方法，意見，失敗等の話を聞くことができてよかった。
- 自分と関わりのある先生方（学年，分掌，教科）意外の方と話をする機会が日常では，な

かなかない。なので、たまにはこのような研修もいいと思った。

- ・ふだん、あまり話す機会のない先輩からアドバイスをいただけて、とても勉強になった。1つの悩みや課題にもいろいろな解決策があって、たくさんの視点から問題を解決していかなければならないのだと思った。教師間のチームワークが大切だと、改めて実感した。
- ・いろいろ意見交換がなされたことは効果的かな。
- ・各教科それぞれ悩みや課題があることを知った。困ったときは、先輩方に相談して、指導方針を考えていこうと思う。これから先、大変なことがあると思うが、頑張っていきたい。
- ・各教科の教員としての悩みがある中で、こうやって生徒が机に向かうことができるか、毎日がその創意・工夫をしているのを感じた。目標のない生徒を、自信をもって卒業させ、社会に送り出したい。
- ・昨年度の学校評価結果について、同じように感じていることがある一方、細かく分析して生徒より保護者の方がわかっていないのではという意見が出て、確かにそうかもしれないと自分も思った。課題に対してなかなか解決策は出ないが、相談し合うというのはよいことだった。
- ・司会進行ごくろうさまでした。今日の五中の学習指導用資料のようなことを、本校の1年生の最初でやるべきと思った。授業中寝ている子は、必ず起こそう。私が初任の頃は「1授業で3回起こせ」と言われた。
- ・他教科、年輩の先生と話す、いい機会となった。採点、事務処理、仕事に追われている中、気を休める時間になった。チームでの指導は大切である。
- ・研修の実施する意味は？。何を学んだのか。どうしたいのか？。生徒の授業後の感想もこんなものなのかと思った。
- ・解決策があまり思い浮かばぬまま研修が終わってしまった。司会の先生方のおかげで和やかな、よい雰囲気での研修だったと思う。
- ・教員がかかえる課題や内容は、やはりバラバラというわけではなく、皆似たようなことを考え、悩み、教育の現場にいるのだなあということを、改めて感じた。だからこそ、チーム松戸向陽として、職員全員で一丸となる必要があるのだと感じた。
- ・あきらめないことにつきると思う。職員が一丸となって。改めて、そう思わされた研修だった。
- ・悩んだり、指導に苦しんだり、迷っているのは、私だけではなく、多くの先生方も同じであった。情報を共有しあって、よりよい方向へ導いて行けたらと思う。司会進行の先生方、お世話になりました。
- ・これといった策はないが、みんな悩んでいるのだなと思った。
- ・先輩教員から、いろいろな話が聞けてよかった。課題に対する解決策を考えるとき、もっと議題をしばって、深い話をしたかったかなと感じた。
- ・ふだん学年室で話している内容そのものだった。初任だけでなく、全員の問題なので、平素から話のできる環境が必要だと思う。
- ・研修の準備をいただいた先生方、ありがとうございました。
- ・「10あるうちの1つを教える」、今日一番印象に残った言葉だ。